



技術の進化やトレンドの
移り変わりが早いWeb制作
学びながら制作し、
新しいものを送り出し続けて

なでしこ力

Power of Nadeshiko

Web デザイン、Web 制作、グラフィックデザインを行うエスグラフィックスの高久綾さん。Web 上のホームページ制作の担い手が少ない時代から現在まで、口コミを中心に仕事が入る。技術の進化やトレンドの移り変わりが早い Web 制作の分野ながら仕事が入り続け発注元からの信頼が厚く、現在では、名古屋学芸大学の非常勤講師も務めている。

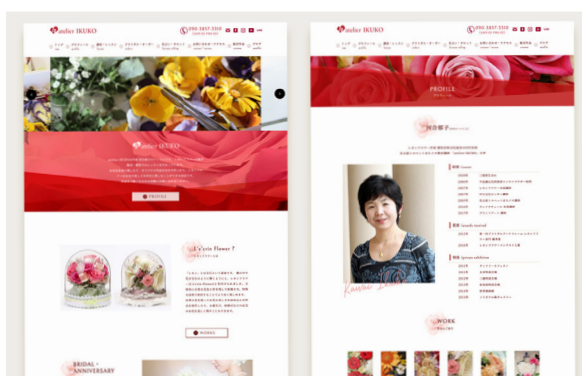
現在の仕事は、Web デザイン・Web 制作、グラフィックデザイン（ロゴマーク、フライヤー、ポスター、名刺、封筒などのデザイン制作）など。丁寧な仕事と卓越した技術とデザイン力で、発注元からは「ホームページの効果を実感している」「センスの良いデザインがとても気に入っている」と評価が高く、発注元も増えている。

歴史が浅い仕事だけに、周囲から信頼や理解を得ることも難しい環境の中、高久さんは自身のデザイナーとしての力量を確立していった。営業活動はしてこなかったが、現在でも発注元を経由しての口コミで仕事が入ってくる。「思いのほか私がデザインしたものを大切にに使っていただいています。また発注元からまた別の人の仕事が紹介されることもありうれしいです」。

発注元のイメージを具現化する仕事

技術や完成度高いものを作っても、発注元の漠然としたイメージと合致するかどうかは別問題のはず。簡単にできる仕事ではない。「デザイン制作については、言葉では表しきれない印象やイメージを視覚化する仕事だと思っています。そのため、誰に、どんな内容を、どのように伝えたいのかを、丁寧なヒアリングをすることで発注者の意図をくみ取っています。初案でのすり合わせは重要で気を配るポイントです。『わかりやすく、明快に伝わること』を大切にしています。デザ

イン制作の場合は、ターゲットやイメージを整理したうえで、デザインを制作しています」と話す。



制作事例 atelier IKUKO 様 Web サイト

大学非常勤講師としての新しい取り組み

2011 年からは、名古屋学芸大学（デザイン学科／デジタル表現演習）の非常勤講師を務める。2020 年のコロナ禍で対面授業ができなくなった際、Zoom や動画を使った授業を行ったところ、こちらが評判となった。授業中に、生徒が作ったものを Zoom を通してと高久さんの手元の PC と結ぶことで、生徒の入力ミスなどを指摘できるのである。現在では、非常勤講師としての授業は、学生の学習状況に合わせ、Zoom の授業を中心に遠隔授業と対面授業の両方を行なっている。

「講師の仕事は、教える分野に、得意な人・苦手な人がいるなかで、どのように、どの